

創刊300号記念特集③

ひろしま市議会だより ができるまで

市議会の活動内容をお伝える広報紙「ひろしま市議会だより」は、一体どのようにして作られているのか、その制作過程をお見せします。

① レイアウト案の作成

表紙の写真やテーマカラーを決め、より親しみをもってもらえるようなレイアウト案を作ります

発行時に開催中のイベント

秋らしい風景

季節感のある色合い

② レイアウト案の決定

表紙の写真と文字の枠などが決まります

これに決めた!!

③ 写真の撮影

アクリル板が…邪魔!

アクリル板が光を反射して写真が撮りづらいです…

④ 質問・答弁要旨のまとめ

質問した議員と相談しながら、質問・答弁要旨をまとめて、掲載する写真を決めます

質問要旨はこれで良いかな?

悩む…

⑤ 原稿案の作成

質問・答弁要旨などをレイアウトに配置し原稿案を作成します



⑥ 原稿案の決定

この表現は変えた方が良いのでは?

原稿案はこれで決定とします!

ルビの大きさを変えることはできますか?

QRコードの位置は固定で

色が見えにくい方への配慮は…

⑦ 出稿

印刷会社へ原稿を渡します

いってらっしゃい!

⑧ 校正 (初校・再校)

印刷会社から返ってきた校正原稿を確認し、誤字・脱字の修正や読みやすい表記への変換について指示を出し、印刷会社が校正原稿を作り直します (この作業を繰り返します)

誤字・脱字の修正

年度新たに策定す
修正指示は朱書きで行います

表記の変換

様々→さまざま
及び→および

「記者ハンドブック 新聞用字用語集」を参考にしています

⑨ 最終原稿案を決定

議長に確認後最終原稿案を決定します

うん、よくまとまってるね!

⑩ 校正 (色校)

この色味なら問題ない。よし印刷だ!

実際に使用する紙に印刷し、色味などを確認します

⑪ 印刷

約34万部を2～3日で印刷します

⑫ 完成

新聞折り込み・郵送などで皆さまの元へ!

出来上がり!!

公益社団法人
広島市視覚障害者福祉協会
会長 中神 誠さんからの
コメント



活字を音声にする作業で大事なことは、聞き取りやすい声で、内容が伝わるように文脈を理解して読むことです。簡単なようですが、毎回、何度も読み返し、聞き返ししながら作成しています。書き言葉は目で見てわかる文章なので、聞いてわかるために、言葉を置き換えて読むというルールもあります。例えば、「約」という文字は「およそ」に置き換えて読みます。



デジ版CD・カセットテープ

ご存じですか? 声の広報・点字広報紙

目の不自由な方には、音声データを録音したデジ版CD・カセットテープ、または点字版市議会だよりを郵送でお届けしています。声の広報・点字広報紙を作成している方に、作成にける思いなどを伺いました。

点字翻訳するにあたり、活字原稿に忠実に、意図を読者にわかりやすく伝えることを大切にしています。校正時は活字原稿と点字原稿とを読み合わせて、原稿の意図が伝わっているか、誤字・脱字がないかを確認し、発送の際は中身がわかるよう、封筒や冊子に点字で記載するなどの配慮をしています。

一般社団法人
広島ブレイルセンター
理事 細地美智子さん
(後列中央)
からのコメント



点字広報紙